

幼児の教育 第115巻 第2号 平成28年4月1日発行 ISSN0289-0836

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考  
「安心」とは……?

[保育エッセイ] 四季の子ども  
春という生活

[子ども学探訪] 幼児の教育アーカイブズとの対話  
ちょうど百年前の『幼児の教育』から

春 2016

第115巻 第2号 日本幼稚園協会

since 1901



お水だよ

たくさん飲んでね

子どもの情景

写真

子どもの情景 ①

目次

安心と春 ②

特集

保育現場で気になる「トバ考」

「安心」とは……？ ④

《view 視野》

再考しよう——誰にとつての安全？

誰にとつての安心？——入江礼子 ⑤

《視点》

子どもが「安心」して遊ぶとき 岩田恵子 ⑨

子どもが「安心」していくとき 三浦末希 ⑬

外で遊んで安心を重ねて大きくなる、

ということ 菊地知子 ⑰

《特集 memo》 ⑳

実践研究

私の保育ノート

透明に「なる」 杉浦真紀子 ㉒

おばあちゃんの孫育て日誌

今日の「楽しい」を見守って 瀧田節子 ㉔

保育エッセイ

四季の子ども ①

春という生活 川田学 ㉓

本棚

古典の散歩道

『幼児の秘密』——集中する子どもの発見——

早田由美子 ㉓

# 目次

## 子ども学探訪

### 幼児の教育アーカイブズとの対話 ④

ちようど百年前の「幼児の教育」から

— 第十六巻第四号（一九一六年四月号）

構成／結城凛々

### そこにいる子どもであるということ ①

背伸びする赤ちゃんの指さす先には……

浜口順子

43

## 書評

### 「雛」の心性——「雛の誕生」を読んで

森下みさ子

47

## 論考

絵本の中で育つ子ども 永倉みゆき

51

## 論考

保育のクロスロード 保育は素敵な物語(2)

走り続けるとも君

湯澤美紀

57

## NEWS & NOTES

イベント・メディア情報・

読者投稿・編集後記 他 63

## 安心と春

まだ

また春号である。「幼児の教育」が季刊となつてから五回目の春が巡ってきた(「特集」に、福島の子どもたちのこの間の様子を伝える記事があるのでお読みいただきたい)。

特集テーマは「安心」とは……?。「安心」というと、硬く凍っていた土や水が溶解して流れ出すイメージ。かの昔私は、女性でも平均身長が170センチ以上の国で、林の中の灌木のようにしばらく生活していた。帰国して間もない頃、「姿勢が良くなつたね」とよく言われた。知らないうちにまた元の猫背に戻ってしまったが、さぞ背筋に力を入れて頑張っていたのだろう。こうして「緩み」の安心はよろしくない。帰国後一番「安心」したのは、話し相手の言葉が100パーセントわかり、自分の気持ちを意のままに伝えられること。この安心感は至福に近かった。しかし今はどうだろう。口の周りに脳があるかのように、話す内容を組み立てずだらだらとおしゃべりしてはお茶を濁すことの多い自分を憂える。「安心」は、その瞬間に意味がある。それだけが持続するところくなことはなさそうだ。幼児の「安心」は、その瞬間から何かをしたくなり、外界への興味を旺盛に、何やら行動をし始めるきっかけである。(H)

## 編集後記

出版界はどことも厳しい状況で、明治34年創刊の『婦人と子ども』から『幼児教育』『幼児の教育』と名前を変えながら続いてきている本誌も例外ではなく、存亡の危機に直面しております。そのような状況の中、115年目の春号を皆様にお届けすることができ、ひとまずホッとしております。

「子ども」という存在を起点とする教育・保育の在り方を問い続けることが本誌の使命だと考え、これまで「問い直そう、保育の中のあたりまえのこと」「保育現場で気になるコトバ考」という特集を組み、身近な日常の問題を取り上げ、そこから保育の在り方を問い直してきました。

その流れは、春号にも継承されています。春号の特集テーマは「安心」。子どもに限らず、人が生きていく上で「安心」はなくてはならないものです。しかし、「子どもたちが子どもらしく安心して生活でき

ること」は、当たり前ではなくなってきています。

子どもの心の中に「安心だ」という思いが確かに根付くには、子ども・保育者・保護者の三者の信頼関係を築いていく努力が必要だということ。そうした努力の上で、「今ある自分」でいることが十分認められ、その先の「なりたい自分」になっていく（永倉氏）ところまでを含めて見守ること、自分から高みを見上げそこに近づいていく子どもたちの姿（浜口）を信じていくこと。子どもと接する上で大事なことが今号には貫かれているように感じました。「四季の子ども」（川田氏）の「赤い金魚」のエピソードも通じるものがあり、この先の展開が楽しみです。

『幼児の教育』の存続を支えるのは読者の皆様です。今後ますます充実した誌面を目指していきます。youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jpまで、ご感想・ご意見等、どうかよろしくお願ひいたします。(1)

## 次号予告 幼児の教育 夏号 2016年6月刊行予定

新企画、新連載が好評！ 充実した内容でお届けします。

**特 集** 保育現場で気になるコトバ考 10  
—「葛藤」とは……？— 加藤繁美氏ほか

**リポート** こども園をつくる  
～お茶の水女子大学こども園からの報告～

**報 告** 中央アフリカ ガボンの保育から  
～ JICA(青年海外協力隊) に参加して～ 西垣友恵氏 ※タイトル内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 春号 第115巻 第2号

平成28年4月1日発行

編集発行人/浜口順子

編集担当/田中恭子

発行所/日本幼稚園協会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所/株式会社フレーベル館

電話:03-5395-6604(編集)

振替/00190-2-19640

印刷所/図書印刷株式会社

定価/本体834円+税

©日本幼稚園協会 2016 Printed in Japan

編集委員/伊集院理子

菊地知子

佐藤寛子

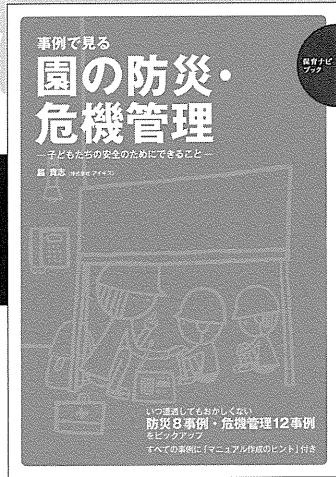
灰谷知子

編集協力/フレーベル館

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業)●

# 地震、大雨などの自然災害や 虐待、アレルギーへの対応など、

## あなたの園のマニュアル作りを しっかりサポート!



保育ナビブック

## 事例で見る 園の防災・危機管理

—子どもたちの安全のためにできること—

認定こども園・幼稚園・保育園 —  
これからの防災・危機管理のスタンダードがわかる!

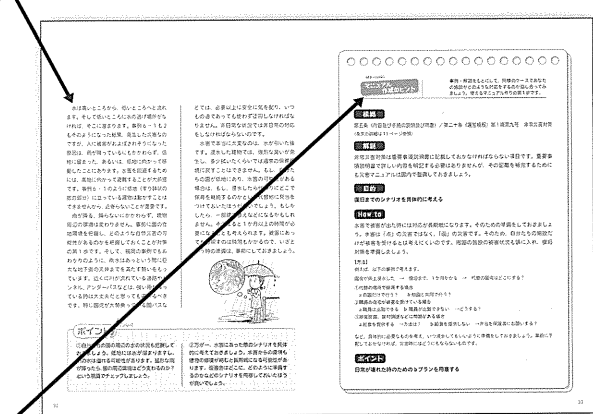
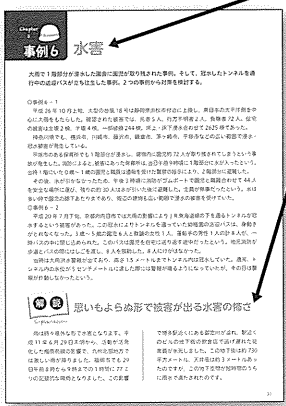
### ポイント

「平成26年内閣府令第39号」(「子ども・子育て支援法」に基づく「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」)に即した防災や危機管理に対する考え方に準拠しながら、これからの防災・危機管理のスタンダードを確認できます。事例→解説→マニュアル作成のヒントと読み進めることで、ケースにあわせた、あなたの園独自のマニュアル作りの道筋がわかります。

脇貴志/著 定価1,944円(税込)  
26×18cm 80ページ  
ISBN978-4-577-81388-1

事例 防災8事例、危機管理12事例を紹介します。

解説 防災・危機管理コンサルタントの脇氏が、これまでの実務経験を元に、わかりやすく解説します。最後に読み解きのポイントがあります。



株式会社アイギス 代表取締役 脇貴志氏  
園向けに、防災・危機管理についてのコンサルティング  
事業を行う。日興証券株式会社、AIU保険会社、株式  
会社アスタリスクを経て独立。  
2009年に株式会社アイギスを設立。  
年間講演数、約130本。事故相談件数、約1,000件。

マニュアル  
作成の  
ヒント

事例・解説をもとに、同様のケースで園がどのような対応をする  
べきか話し合うポイントを紹介いたします。自園オリジナルの使える  
マニュアル作りの第1歩です。

# 保育のいろんなシーンで使える イラストカット&おたより文例

CD-ROM  
付  
for windows



日々のおたよりづくりをもっと楽しく！  
文例付きで簡単に使えるイラストカット集。  
おたよりづくりをちょっとの工夫で楽しめる  
コツや、イラストをおたよりだけでなく、  
壁面や行事のプログラムなど、保育の  
いろんなシーンで使えるアイデアなど、  
コラムも充実！

池田かえる／コラム執筆

定価1,998円（税込）

26×21cm 128ページ CD-ROM付き

ISBN978-4-577-81390-4 109-60



## point1 要望の多いイラストがいっぱい

季節や行事のイラストに加え、おたよりでよく使う食育・保健のイラストや、要望の多い普段の生活シーンのイラスト、また保育現場でますます必要とされている0・1・2歳児のイラストなど、使いやすいイラストがもりだくさん。



## point2 コラムも充実！

イラストカットに  
ちょっとした工夫を  
プラスして、ぬくも  
りやオリジナリティ  
を感じられるおた  
よりにするには？

イラストカットをお  
たよりだけでなく、  
保育のいろんなシ  
ーンで活用する  
アイデアは？

保護者と子どもが、  
楽しみながら見てく  
れるおたよりの  
アイデアって？

おたよりづくりや  
イラストカットの  
活用が、  
もっと楽しくなる  
コラムが13本！

# イラストも豊富でよみやすい! 明日の保育を見つめなおすためのヒント満載。

## よくわかる! 教育・保育 ハンドブック

保育の質を上げる10のポイント

幼保連携型  
認定こども園  
教育・保育要領  
に学ぶ



無藤 隆

### しっかり考えたい保育者をバックアップ

大事なポイントがしっかりわかる!

これからの保育が見える!

事例・解説 + 保育者の目

対談

20の事例・解説と保育者の目で、  
ポイントを深く知りいただけます。

目録「教育と保育」  
対談「地域・家庭」  
目録「地域・家庭」  
目録「対談・事例」  
目録「対談・事例」

## よくわかる! 教育・保育 ハンドブック

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に学ぶ  
保育の質を上げる10のポイント

編著:無藤 隆

定価1,728円(税込) 21×15cm 144ページ

これからの教育・保育を考える際、保育の質向上のために  
おさえておきたい10のポイントを切り口として、『幼保連携  
型認定こども園教育・保育要領』を読み解きます。『教育・  
保育要領』のフレーベル館版解説書。

ISBN978-4-577-81389-8

## 本書の特長

「10のポイント」事例と解説で、  
目の前の保育が見える!

ポイント説明／事例と解説／保育者の目で理  
解が深まる!

★気鋭の研究者がわかりやすく、ていねいに  
紹介します。

### 執筆者 (50音順)

大豆生田啓友先生 (玉川大学)  
古賀松香先生 (京都教育大学)  
松寄洋子先生 (千葉大学)  
矢藤誠慈郎先生 (岡崎女子大学)  
和田美香先生 (聖心女子専門学校)

対談で、これからが見える!

保育者が、これから考えるべきことが見え  
てくる!

★無藤隆先生を対談のホスト役とし、ゲスト  
をお迎えして、注目のテーマについてお話  
をうかがいます。

ゲスト:秋田喜代美先生 (東京大学大学院 教授)

テーマ:「教育と保育」

古くて新しい、興行きのあるテーマである「教育と保  
育」。園や保育者は、今後、どんな点に着目すべきな  
のでしょうか。

ゲスト:汐見稔幸先生 (白梅学園大学 学長)

テーマ:「地域・家庭」

これからの園に求められる役割に、「地域・家庭」へ  
のかかわりがあります。どんなことがポイントにな  
るのでしょうか。